震災遺構｜仙台市立荒浜小学校

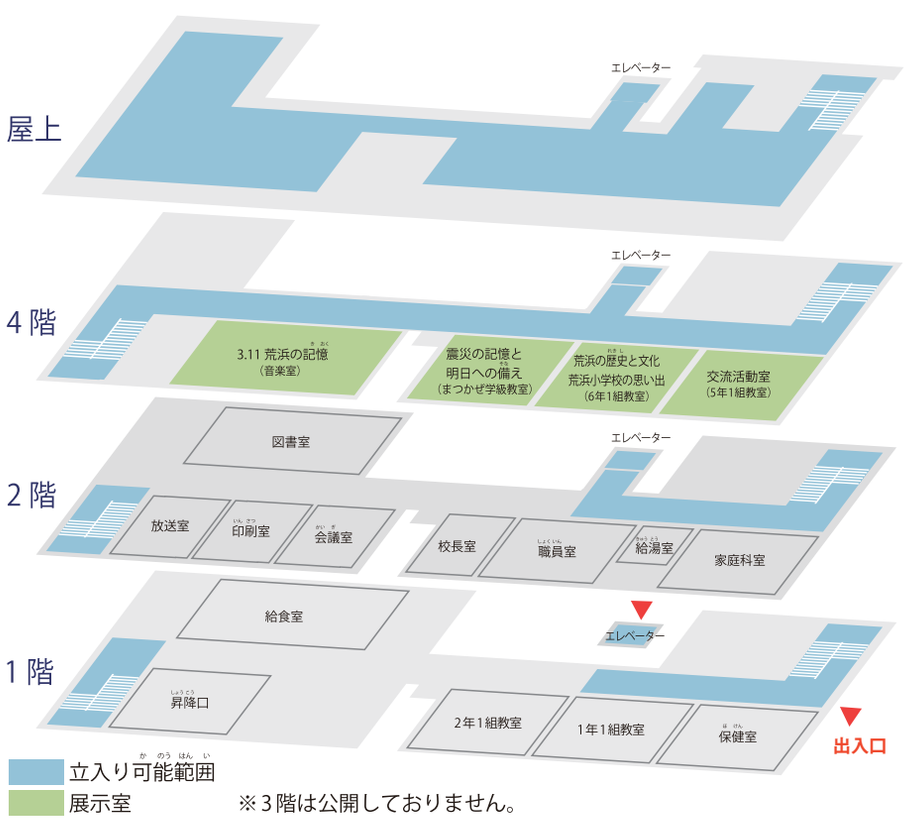
2017 年 4 月 30 日（日）
一般公開開始

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災において、荒浜地区の方々や子どもたちなど 320 人が避難し、2 階まで津波で浸水した荒浜小学校。この震災で犠牲になられた方々や甚大な被害を受けた地域、津波の脅威を忘れないためにも、校舎を震災遺構として一般公開します。

◆ **開館時間**　10:00 ～ 16:00
◆ **休館日**　月曜日、第 2・第 4 木曜日、祝休日の翌日、年末年始
◆ **見学方法**　自由見学を基本としていますが、案内が必要な場合には、事前に 022-214-1117（まちづくり政策局防災環境都市推進室）まで、ご相談ください。※

※6月1日（木）以降のご相談は、022-355-8517（震災遺構 仙台市立荒浜小学校 管理事務所）まで

＜各階展示のご案内＞



※3階は公開しておりません。

【ご注意】1～2階、4階「3.11荒浜の記憶」の展示には、震災直後の写真や映像が含まれます。これらを見ずに、4階や屋上へ向かう場合には、校舎北側からエレベーターをご利用ください。

屋上

荒浜地区全体を見渡しながら、被災前後の風景を比較することができます。海や貞山堀（貞山運河）との位置関係や、かさ上げ道路などの工事が進む状況も見ることができます。

4 階

荒浜小学校における、地震発生から避難、津波の襲来、そして救助されるまでの経過を写真や映像で振り返るとともに、災害への備えについて学ぶことができます。また、荒浜地区の歴史や文化、荒浜小学校の思い出などもご紹介しています。

【展示室】3.11 荒浜の記憶

【展示室】荒浜の歴史と文化
荒浜小学校の思い出

校舎外周／1 階／2 階

校舎の被害状況や被災直後の様子を伝える写真などから、荒浜小学校を襲った津波の脅威を知ることができます。

1 階廊下